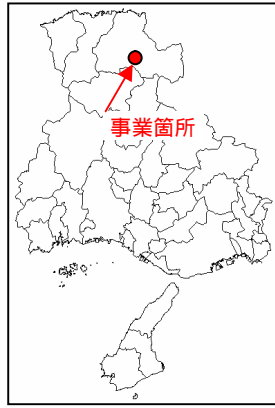


投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本正利 (樋口和夫)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	3.2億円
		通常砂防事業 あらきたに 荒木谷川	豊岡市 いずしちようあらき 出石町荒木	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
豊岡市出石町荒木				H23	H27
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、土砂災害から災害時要援護者関連施設等を保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 3基 (H = 10.0m, L = 50.0m) (H = 8.0m, L = 40.0m) (H = 8.0m, L = 40.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(一)菅川に流入する土石流危険溪流 ・流域は溪床土砂が厚く堆積しており、近年の降雨による溪岸の浸食も進むなど、流域の荒廃が進行している。 ・谷出口に災害時要援護者関連施設である障害者支援施設があり、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約3ha(長さ400m、最大幅200m程度)に及ぶ。 ・障害者支援施設「出石精和園」(災害時要援護者関連施設)、市道				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・平成22年度に土砂災害警戒区域を指定予定であり、警戒避難体制の整備によりソフト対策が進められる。これに加え更にハード整備による土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。				
〔事業執行環境〕	・周辺道路の利用に施設の理解が得られており、またえん堤設置位置付近に広い作業ヤードを確保することができ、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・自力による避難が困難な災害時要援護者が利用する施設があることから、早期着手に対する施設からの要望が強い。 以上より、H23年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

あ た き た に が わ
荒 木 谷 川
 [豊 岡 市]



計 画 概 略 図
 縮 尺 1 : 5 , 0 0 0

流域面積A=0.06km²

凡 例	
	事業実施箇所
	被害想定区域
	保全人家等

流域面積A=0.03km²

